

亀西コミ協たより

平成29年3月15日発行 第26号
編集・発行：亀田西小学校区コミュニティ協議会(制作：広報部)
〒950-0195 新潟市江南区泉町3-4-5
新潟市江南区地域課内
TEL 025-383-1000(代表)



第4回 ふれ愛もちつき大会



平成29年1月22日(日曜日)亀田西小学校において、第4回ふれ愛もちつき大会が実施されました。

年明け最初の地域交流イベントであり、地域の方々から多世代ならびに大勢のご参加をいただきありがとうございました。

イベントブースでは、例年の「もちつき」や「けん玉」「こま回し」に加えて、今年度新たに「紙コップで出来る工作」を設けた事や、さらにスペシャルゲストの『トッキキ(とっぴー)』や『笹 団五郎・花野 古町』が登場して会場は写真撮影する親子で大盛況でした。



その後、みなさんでついた餅を有志の方々が「きなこ餅」「籐五郎梅餅」「海苔巻き餅」そして「お汁粉」を作って下さり、おかわりが出るほどの人気でした。



昨年同様に、多世代で楽しめていただけるイベントになったのではないかと感じました。

最後になりますが、イベントに携わった大勢のスタッフの方々に感謝申し上げます。

亀田西小学校 PTA幹事 齊藤 直哉

《防災まめ知識》 非常持出袋の中身

・いつ起こるかわからない震災。非常持出袋は、いつでも取り出せる場所に保管しましょう。

平成28年度 亀西コミ協 研修会

平成28年11月10日(木)我々総勢25名は、平成16年10月23日に発生した新潟県中越大地震に見舞われた中越地方に向かいました。

まず最初に、おぢや震災ミュージアム「そなえ館」を視察しました。ここでは、語り部の風間さんから「新潟県中越地震に学ぶ」と称した講話を聞きました。

地震時は、時と場所を選ばず突然やってくるもの。災害時は、地域・町内会に存在するあらゆる団体、組織を活用して、自らの安全を図りながら、周囲の人々と減災に向け活動できる自主防災組織が、災害に負けない強い地域を作る基となる。とのこと。

次の視察先は、山古志復興交流館「おらたる」で昼食を兼ねて見学しました。ここでは、中越大地震後、全村民が避難を余儀なくされた後に、この地で何が起っていたのかを地形模型シアターを使って見た映像は必見でした。

右上の写真は、駐車場の一角にある『希望の鐘』の前で参加者全員で撮影したものです。次に我々は、木龍(こごも)メモリアルパークを見学しました。ここには、「記憶の公園」と言うところがあり、現在も水没した家屋が今だに残ってありました。左下写真参照

最後は長岡震災アーカイブセンター「きおくみらい」を見学しました。

ここは「中越メモリアル回廊」の中核であり、先進のIT技術を活用した知的情報集積拠点です。

私は、幼少の頃に新潟地震他今までに数々の地震に遭っています。

今回この中越メモリアル回廊(一部)を視察できたことは、大変有意義でした。機会を見つけて、今度は家族で見学に来たいと思いました。



水没した家屋(下半分が土砂で埋まっている)

意見交換会

毎年恒例の亀田西小学校区内14自治・町内会長、江南区役所幹部、亀西コミ協理事の三者による、意見交換会を平成29年2月8日(水曜日)亀田市民会館にて実施しました。

今年度は、昨年糸魚川市で発生した大火がこの亀田地区で発生したら、消防車が通れない小路が多数あり、隣近所への延焼は免れない状況になりえる等、身近な課題で会場は盛り上がりました。



～スローガン～
カメダ西 大きな輪になれ 笑顔と行動

西小PTA半日奉仕に参加する！



平成28年10月15日（土）今年も西小PTA主催による半日奉仕が行われました。

ゴミ協の担当は例年同様グラウンド側溝の泥上げと草取りでしたが、今年は特に側溝に桜の木の根がはびこっており悪戦苦闘。その中でも、5年生の児童がお互い協力し合い本当に一生懸命に頑張ってくれました。この5年生たちが来年は最高学年となりリーダーになります。何と頼もしいことでしょう。

腰の痛みも忘れ、ほっこりとした気持ちになった半日でした。
環境部会長 清野

第一町内会

第一町内会は、駅西口前通りを挟んで北側と南側に分かれた2つの区域から成り、会員数約280世帯の中規模町内会です。駅前地区は周辺整備事業により、広場・基幹道路・バリアフリー歩道・交流センター等が建設され、高齢者等に配慮した安心・安全、快適な都市空間が生まれました。また、駅に近いこととバス停や銀行、郵便局にも近接し、さらに大型スーパーがオープンし、便利で住みやすい環境にあります。

会館建設に伴う法人化後の新体制で6年を経過しましたが、10名の役員の下、ゴミステーション管理・敬老会・防災訓練等の活動を着実に進めており、特に敬老会は、身近な会館ができたため、「出席」しやすいと参加者が増加して好評です。

一方、役員の高齢化が課題であり、活動に支障をきたさぬよう、後継者の育成が急務になっております。

第一町内会 会長 本間 弘

亀田西町第三区町内会

私達の自治会は、亀田西町第三区町内会です。昔の呼び名は「西船場三区」でした。今は、道路の向かい側は、東船場二区です。川を挟んで、東船場、西船場になっていて船付き場所でした。現在その川は道路の下に流れております。後に『ゆきよし跨線橋』が出来、三区町内会は、平成28年度125世帯（11組）になりました。今から40～50年前は子ども達も大勢いて、三区の年間行事も毎年「盆踊り大会」「運動会」「文化祭」等を行っており活気がありました。今では、少子高齢化が三区にも押し寄せ、町内の行事は「新年会」だけになってしまい寂しい限りです。老人会は新年会と年2回の旅行が楽しみです。

また、女性ががんばっておられる「いきいきサロン」「婦人会」だけになってしまいました。

町内の皆さんと話し合っって三区を元気にしたいと思っている毎日です。

亀田西町第三区町内会 会長 荒木 欣一

のぼり旗の設置式



平成28年11月22日（火曜日）心配された天候も取付時には晴れ間に恵まれて、江南区副区長・江南警察署長・亀田西小学校校長・亀田西中学校校長・江南区社会福祉協議会会長の参加をいただき、6班に分かれ亀田郵便局から江南警察署までの1.7kmの歩道に60人が60本ののぼり旗の取り付けを実施しました。参加の皆様ありがとうございました。

地域の安全と安心を願い無事終了しました。

安心・安全部会長 目黒

亀田西中学校 新潟ライオンズクラブ双葉賞 受賞



平成29年2月16日（木曜日）ホテルオークラ新潟にて、『新潟ライオンズクラブ双葉賞』の表彰式がありました。

この双葉賞は、生徒の健全育成に寄与することを目的に自発的な善行を行っている生徒に対して送られる賞です。

今回は、“冬期五味出しボランティア”に初めて参加した生徒24名が受賞しました。

この“冬期五味出しボランティア”は、亀西コミ協の竹内会長の呼び掛けに応じ、年々参加を希望する生徒が増加し、今年度は、100名を超えました。利用者の方や通学路の

関係で、今年度は24名の生徒が初めてこの活動に参加しました。普段あまり経験することのないホテルでの表彰式で、少し緊張した様子でしたが、自分たちの行動が人の役に立っているのだと自覚する良い機会だったのではないのでしょうか。

亀田西中学校コーディネーター 栗原 久美子

編集後記

今年の冬は、インフルエンザが猛威を振るいましたが、いかがお過ごしでしょうか？油断していると、思わず重症になることもあるので、くれぐれもお気をつけて下さい。今年も亀西コミ協をよろしくお願い致します。

コミュニティ協議会の運営・活動は、新潟市の補助金を受けて実施しています。